







公務員試験 マップでわかる経済学マクロ編  
(第1刷)

ページ	内 容																		
79	4 行目 【誤】 定額税 → 【正】 民間投資																		
82	下から 6 行目 政府支出の変化以外は考慮する必要がないので、～ 【誤】 $\Delta C = \Delta I = 0$ とすると、 → 【正】 $\Delta C_0 = \Delta I = 0$ とすると、																		
102	上のグラフにある緑色文字の m1 【誤】 m1 → 【正】 m																		
138	下の図 【誤】 <table border="1"><tr><td colspan="3">資産の全体量 (100)</td></tr><tr><td colspan="2">貨幣供給 (70)</td><td>貨幣供給 (30)</td></tr><tr><td>貨幣需要 (40)</td><td></td><td>貨幣供給 (30)</td></tr></table> 【正】 <table border="1"><tr><td colspan="3">資産の全体量 (100)</td></tr><tr><td colspan="2">貨幣供給 (70)</td><td>債券供給 (30)</td></tr><tr><td>貨幣需要 (40)</td><td></td><td>債券需要 (30)</td></tr></table>	資産の全体量 (100)			貨幣供給 (70)		貨幣供給 (30)	貨幣需要 (40)		貨幣供給 (30)	資産の全体量 (100)			貨幣供給 (70)		債券供給 (30)	貨幣需要 (40)		債券需要 (30)
資産の全体量 (100)																			
貨幣供給 (70)		貨幣供給 (30)																	
貨幣需要 (40)		貨幣供給 (30)																	
資産の全体量 (100)																			
貨幣供給 (70)		債券供給 (30)																	
貨幣需要 (40)		債券需要 (30)																	
169	下から 4 行目 【誤】 $\Delta G = 30 \Rightarrow \Delta Y, \Delta r$ → 【正】 $\Delta G = 30 \Rightarrow \Delta Y, \Delta i$																		
177	下から 1 行目 【誤】 投資関数が垂直になると (I1)、 → 【正】 投資関数が垂直になると (ID)、																		
178	2 行目 【誤】 投資関数が水平になれば (I0)、 → 【正】 投資関数が水平になれば (IC)、																		
179	2 行目 【誤】 水平になります (IS0)。 → 【正】 水平になります (ISC)。																		
179	5 行目 【誤】 垂直となります (IS1) → 【正】 垂直となります (ISD)																		
218	一番下のグラフ図の縦軸の表記 【誤】 r → 【正】 P																		
263	基本例題 31 グラフ図の表記 【誤】 労働供給曲線 : $L^D = L^D(\frac{W}{P})$ → 【正】 労働需要曲線 : $L^D = L^D(\frac{W}{P})$																		
311	7 行目 【誤】 C 点 BP=CA↑+ CF↓=0 → 【正】 C 点 BP=CA↑+ FA↓=0																		